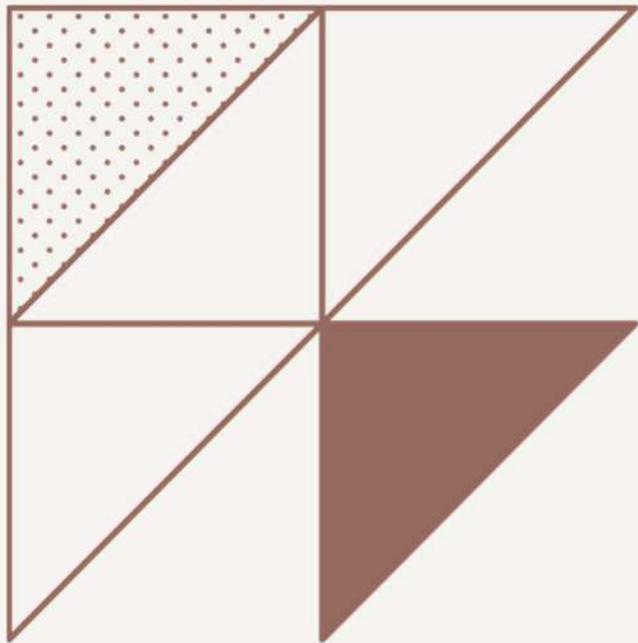


神奈川県立座間総合高等学校／産業能率大学 コンソーシアム活動事例報告

主体的学習者育成プログラムの 実践



2025年7月25日



- 01 座間総合高等学校について
- 02 背景と課題
- 03 主体的学習者育成プログラムの内容
- 04 生徒の反応
- 05 今後の課題と展望





座間総合高等学校について



教頭 西川 潤一

校長 唐川 和彦

副校長 神野 伸

- 総合学科／全日制
- 1年次 8クラス
- 2年次 6クラス
- 3年次 7クラス
- 前期・後期制

背景

座間総キャリアプログラム

キャリアⅠ

知る

キャリアⅡ

ふかめる

キャリアⅢ

切り拓く

キャリアⅠ
1年次

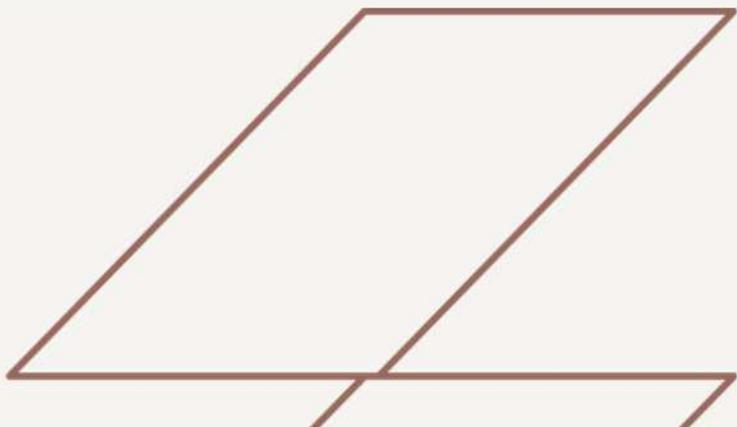
知る 探究基礎形成期

産業社会と人間

情報に触れる、知る

手法を学ぶ

自分認識する

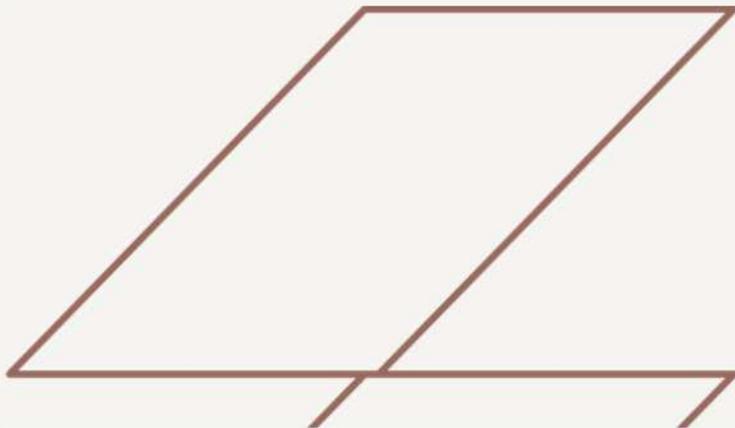


キャリアII
2年次

ふかめる 主体的探究期

総合的な探究の時間

自分の関心に基づき考える
多様な分野から取捨選択
研究のテーマを決める



キャリアⅢ
3年次

切り拓く 未来創造期

総合的な探究の時間

自分の将来を考え、進路決定
社会に目を向け 将来をみつめる
探究活動の最終段階

課題

■ 探究活動で求められる力

- ・自ら問いを立てる力
- ・協働的に問題を深掘りする力

■ 本校の課題研究における課題

- ・テーマ決定が困難
- ・「問いを立てる視点」が育っていない

How?
Who?

➡ 1年次からの意識づけが必要

課題打破策

1年次からの意識づけが必要

プロの知見



Win-Win



研究データ

働き方改革

神奈川県教育委員会

コンソーシアムHP 一部抜粋

// 県央・相模原

企業・研究機関名	内容	実施可能人数	実施可能時期	カテゴリ	時間	形態
愛知産業株式会社	調整中					
麻布大学	調整中					
和泉短期大学	調整中					
地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所	施設見学・体験等	15人	通年	探究	90分	施設見学・体験など
神奈川工科大学	詳細はこちら	ご相談ください	通年	探究ほか	要相談	施設見学・体験・出前授業など
北里大学	調整中					
相模女子大学	調整中					
相模女子大学短期大学部	調整中					
産業能率大学	詳細はこちら	何名でも可	通年	探究ほか		出前授業
産業能率大学	ワーク等を通じて経営の学びや学び方を考える	ご相談ください	通年	課題解決		出前授業
産業能率大学	ワーク等を通じてキャリアを考える	ご相談ください	通年	キャリア教育		出前授業
産業能率大学	ワーク等を通じてキャリアを考える	ご相談ください	通年	キャリア教		施設見学・体

マッチング①

産業能率大学	詳細はこちら	何名でも可	通年	探究ほか		出前授業
産業能率大学	ワーク等を通じて経営の学びや学び方を考える	ご相談ください	通年	課題解決		出前授業
産業能率大学	ワーク等を通じてキャリアを考える	ご相談ください	通年	キャリア教育		出前授業

マッチング② - 1



産業能率大学

大学概要・教育情報

SANNOの学び

学部・学科

就職・キャリア

キャンパスライフ

入試情報

図書館・付属施設

「違いに気づき、違いを創る」

「違いに気づく」はマーケティング力、「違いを創る」はブランディング力。

松岡 俊 教授 MATSUOKA Takashi

学位 文学修士 明治大学



産業能率大学HPより抜粋

マッチング② - 2

ゼミの取り組み

■ 「子育てママ向け商品開発」プロジェクト

子育て中のママをターゲットとした商品開発プロジェクトを実施します。ママたちの悩みやニーズを深く理解し、それに応える商品のアイデア出しから、試作品の製作、テストマーケティングまでを行います。実際のビジネス現場で企画や提案を行うことで、実践的なスキルと経験を積むことができます。



■ 「野菜嫌い解消」プロジェクト

学園祭で100組の親子を招待し、野菜嫌いの原因を探る研究活動を行っています。子どもたちが野菜を食べる様子を観察し、親子の会話に耳を傾けることで、なぜ野菜が嫌いなのかの本質に迫ります。実践的な研究を通じて、社会課題解決のアプローチを学びます。



主体的学習者育成プログラム① 【問題発見編】

令和6年11月29日（金）50分×2

時間	項目	概要
10分	本プログラムの目的	いま社会が求めている人材とは？ 本プログラムの目的
10分	ウォーミングアップクイズ	日常風景からお困りごとを発見し、解決した商品・サービスに関するクイズ
10分	診断テスト	主体的学習者診断テスト
50分	問題発見 ケーススタディ	ケーススタディ「食生活実態調査」
15分	本日のまとめ	問題意識を育むためにできること 参考図書を紹介、振り返りシート記入

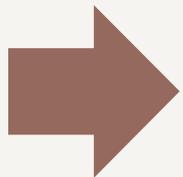
主体的学習者育成プログラム②【問題解決編】

令和6年12月6日（金）50分×2

時間	項目	概要
10分	前回の振り返り	いま社会が求めている人材とは？ プログラムの目的
10分	ウォーミングアップクイズ	社会課題を解決したソーシャルデザインに関するクイズ
60分	問題解決ケーススタディ	ケーススタディ「ワーキングマザー」
10分	診断テスト	主体的学習者診断テスト
10分	本日のまとめ	全体振り返り 参考図書を紹介、振り返りシート記入

問題発見ケーススタディの流れ

- ① ある家庭の食事の写真を観察し、気づきを付箋に記入
- ② 栄養・教育・環境の「専門家」に分かれて情報収集
- ③ 専門視点から再考察し、グループで討議・発表
- ④ 最後に振り返り



視点を得ることで、問題の本質が見えてくる

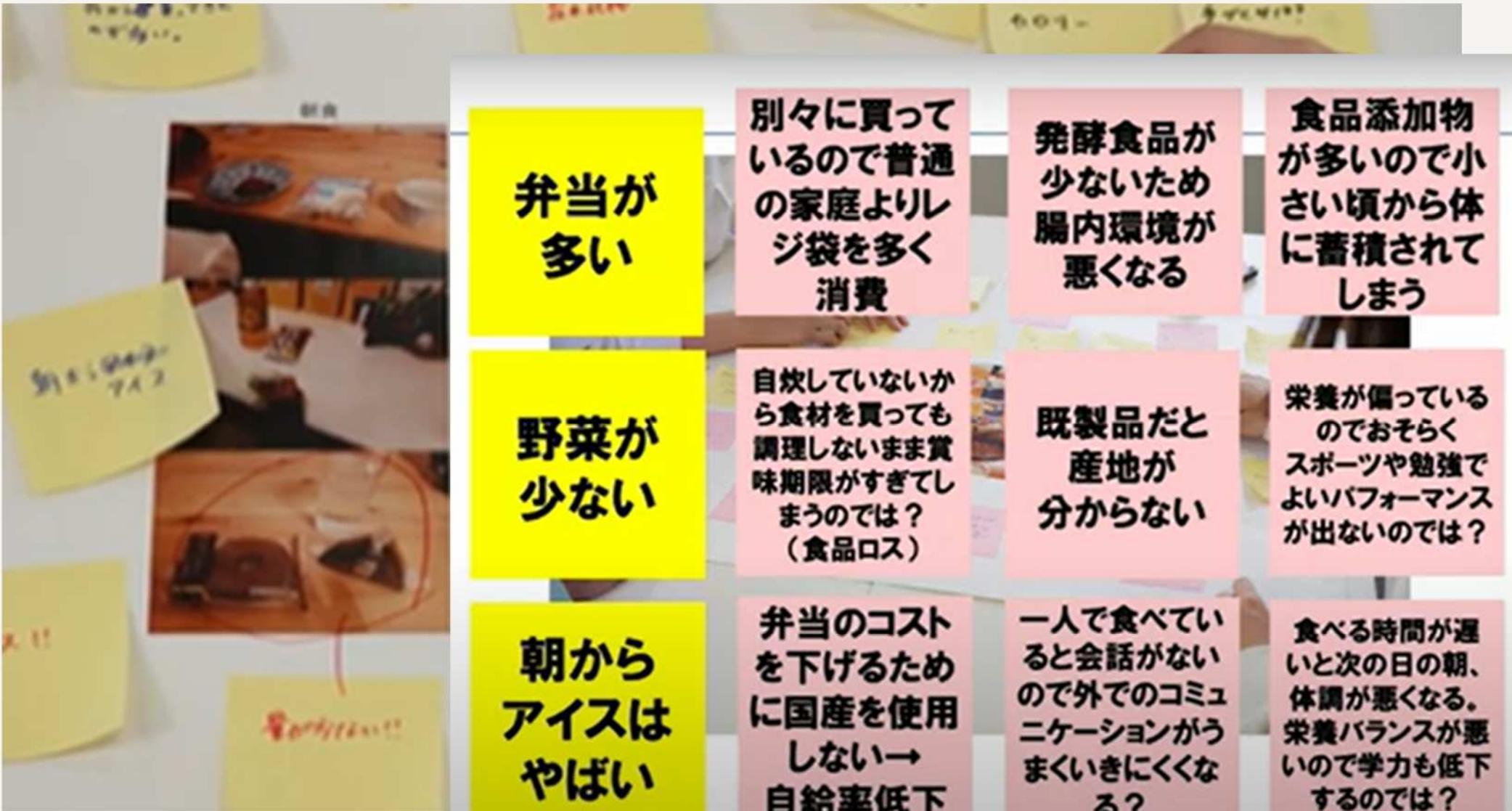
朝食



夕食







弁当が多い

別々に買っているので普通の家庭よりレジ袋を多く消費

発酵食品が少ないため腸内環境が悪くなる

食品添加物が多いので小さい頃から体に蓄積されてしまう

野菜が少ない

自炊していないから食材を買っても調理しないまま賞味期限がすぎてしまうのでは？
(食品ロス)

既製品だと産地が分からない

栄養が偏っているのでおそらくスポーツや勉強でよいパフォーマンスが出ないのでは？

朝からアイスはやばい

弁当のコストを下げるために国産を使用しない→自給率低下

一人で食べていると会話がなかったので外でのコミュニケーションがうまくいけなくなる？

食べる時間が遅いと次の日の朝、体調が悪くなる。栄養バランスが悪いので学力も低下するのでは？

生徒の振り返り（抜粋）



他者との協働を通じた視点の広がり

「人によって考えが違って、それによって新たな考えが生まれ出してとても楽しかった！」

複眼的思考と観察力の重要性に気づく

「いろんな立場から考えることが大切だと分かった。また、観察が大事だと授業を通して学ぶことができた」



生徒の振り返り（抜粋）



日常から問題意識を持つ姿勢の芽生え

「身近なことでも問題化していることが多々あるから、その問題に目を向けて問題解決につながればいいなと思いました」

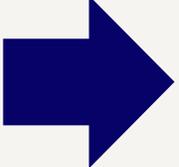
問題のスケール感・持続可能性への思考

「問題によって個人間の取り組みだったり、国などの大規模な取り組みがあることや、その解決策が継続できるものかを考えることも大切だとわかった」



生徒の振り返り（抜粋）

- 「人によって考えが違って、それが楽しかった」
- 「観察の大切さに気づいた」
- 「日常の中に問題があると気づけた」
- 「問題の規模や持続可能性も考えるようになった」

 大学研究内容の提供と大学生の丁寧なサポートにより、視点・問題意識・探究姿勢の芽生えが見られた。

今後の課題と展望

■ 課題

- 視点を育てる継続的な支援が必要
- 探究思考を日常化する仕掛けが課題

■ 展望

- 1年次から探究の土台を育てる
- 2年次課題研究への橋渡しを強化

コンソーシアムによる
「知識の外部資産」の有効活用

まとめ

- 本プログラムは「問いを立てる」体験を通じて探究の入り口に立たせる効果的な導入
- 今後も、コンソーシアムを活用しながら、生徒の主体的な学びを支える仕組みづくりに取り組んでいく



神奈川県立座間総合高等学校／産業能率大学 コンソーシアム活動事例報告

ご清聴ありがとうございました



2025年7月25日